

SHAKE HANDS

東京都インディアカ協会 機関紙



2013.11.22
No.8

発行責任者 丸山正

東京都インディアカ協会
〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-29-9 特定非営利活動法人 八王子市レクリエーション協会事務所内
TEL 042-656-0901 FAX 042-656-3709 tokyo.indiaca.jp



スポーツ祭東京2013

とどけよう スポーツの力を東北へ!

東日本大震災復興支援

第68回国民体育大会

デモンストレーションとしてのスポーツ行事 インディアカ 開催

平成25年9月1日、八王子市民体育館において、スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会東京大会)のデモンストレーションとしてのスポーツ行事「インディアカ大会」が開催され、東京都の各地から参加した48チームが、猛暑の中、熱戦を繰り広げました。

暦の上ではすっかり秋のはずの当日は、まだまだ真夏の日差しが朝から照りつける猛暑。それでも日ごろの練習の成果を発揮し、楽しんで交流を深めようという老若男女300名余が、人口58万人の八王子市の市民体育館に元気に集合しました。

開会式は、武石記代子大会副会長の開会宣言に始まり、石森孝志^{たかゆき}八王子市長の歓迎のことば、丸山正大会会長の主催者挨拶、大塔幹夫競技委員長の競技場の注意、選手宣誓、そして準備体操と、八王子市民体育館メインアリーナは、気温の暑さに選手の熱気が加わって、徐々に暑くそして熱くなっていきました。

それぞれの方からは、熱中症にならないよう、水分を取るよう重ねて注意喚起があり、体育館側からは大会中に競技を一時中断できるかどうかの相談もありましたが、体育館上部の窓を開けて風通しを良くしたり、放送や役員が水分補給をするよう何度も声をかけ、徹底して熱中症対策を行いました。その結果一人の熱中症も事故もなく、成功裏に終わることができました。

開会式では、開催地である八王子市の石森孝志^{たかゆき}八王子市長から、八王子市の紹介があり、「豊かな自然と歴史ある八王子の街の魅





力の一端を感じてください」と歓迎と激励の挨拶をいただきました。

丸山正大会会長からは、昨年スポーツ基本法が成立し、インディアカのようなだれもが参加できるスポーツがますます注目されているという日本のスポーツをとりまく現状のお話と、日頃の成果を大いに発揮し一日大いに楽しんでください、とエールが送られました。



選手宣誓は、シニア男女混合の部に参加の「三体マルベリー」チームの中島清さんと木下雅子さんによって行われ、この日朝から応援に駆けつけた大会マスコット「ゆりーと」も一緒に宣誓、和やかな雰囲気の中大会は始まりました。

その後の準備体操もユリートは参加者のみなさんと一緒に身体を動かし、すっかり会場の人気者に。

会場には、八王子市の小学生の描いた応援旗も掲げられ、また、帝京大学教育学部の学生が写真によって制作したポスターも、大会を応援してくれました。

参加 48 チーム中、大会参加は初めてというチームもあり、大会はインディアカ歴 30 年余の方からインディアカボールに触れてまだ数時間という方まで、わきあいあいと進行し、これぞインディアカというプレーが各コートで繰り広げられ、国体のデモンストレーション大会に相応しい、真剣で明るく楽しい、充実した大会になりました。

参加されたみなさん、そして大会運営に携わったみなさん、お疲れ様でした。各コートの成績は次の通です。(詳細は、東京都インディアカ協会のホームページ (<http://tokyo.indiacajp/>) でご覧いただけます。)

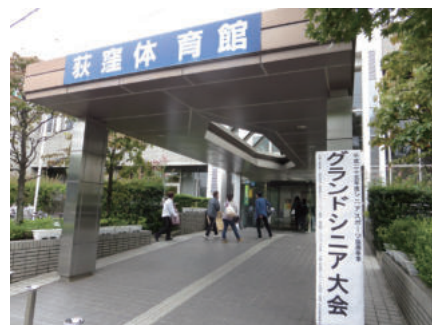


コート	種目	優勝	準優勝	第3位
1コート	女子	スクランブル	石神井インディアカクラブ	笑琉
2コート	男女混合	ブルーウェーブ	H I C - G A I A	片倉レインボー
3コート	男女混合	大宮エフォート	K i n P i k a	上中 I C
4コート	男女混合	八王子六体	サンデー 2-4	J I C - A
5コート	シニア女子	レッドロケット	ウイング	F. C o l l a b o
6コート	シニア女子	メランジュ	L. F O X	N S - E C
7コート	シニア男女混合	ガイア	ラッキーステップス	アパッチ M
8コート	シニア男女混合	大宮	六郷すばる／七味とうからし	



グランドシニア大会

東京都が高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、もって高齢者の健康の維持・増進に寄与ことを目的として実施している「シニアスポーツ振興事業」。東京都は70%の人が週に1回スポーツを行うようにするのが目標とのこと。平成25年度のこの事業で東京都、東京都レクリエーション協会と東京都インディアカ協会が主催するグランドシニア大会が、オリンピック開催決定の余韻の冷めやらぬ平成25年10月19日（日）、杉並区の荻窪体育館で行われました。



19チームが参加。上は90歳台の方まで、その健在ぶりを発揮、一日元気にインディアカを楽しみました。

永尾治子実行委員長（東京都インディアカ協会理事長）の開会宣言で始まった開会式では、丸山正大会会長（東京都インディアカ協会会長）、野田信雄杉並区インディアカ協会会長の挨拶、そして来賓として、杉並区教育委員会事務局スポーツ振興課長の高橋光明氏から挨拶をいただきました。また、東京都議会議員の小宮あんり氏も応援に駆けつけ、挨拶をいただきました。

杉並区では折りしも、スポーツ基本法に基づく区のスポーツ分野の計画として、今後10年程度を見通した、5年間を計画期間とする杉並区スポーツ振興計画「健康スポーツライフ杉並プラン」が策定され、スポーツを通して豊かで活気に満ちた地域社会をめざしているとのこと。以前からインディアカのグランドシニア大会も行われ、今回はそのグランドシニア大会とシニアスポーツ振興事業の大会として開催することになりました。



上は90歳台から、元気はつらつの方々が、真剣に、そしてわきあいあいと、インディアカを楽しみました。閉会式で丸山会長から「インディアカが日本に入ってきたときと全く同じ、生涯スポーツの原点をみました。NHKで全国放映しなければいけないくらい、素晴らしい大会でした。」と、そして武石東京都インディアカ協会副会長から「杉並区では昨年までグランドシニア大会として20回行ってきました。最初は参加者も少なかったこの大会もこんなに成長しました。来年以降も続けて行きたいと思います。」と講評をいただき、大会はひとつの事故もなく無事終了しました。来年もまた、皆さんのたくさんのご参加をお待ちしています。

上は90歳台から、元気はつらつの方々が、真剣に、そしてわきあいあいと、インディアカを楽しみました。閉会式で丸山会長から「インディアカが日本に入ってきたときと全く同じ、生涯スポーツの原点をみました。NHKで全国放映しなければいけないくらい、素晴らしい大会でした。」と、そして武石東京都インディアカ協会副会長から「杉並区では昨年までグランドシニア大会として20回行ってきました。最初は参加者も少なかったこの大会もこんなに成長しました。来年以降も続けて行きたいと思います。」と講評をいただき、大会はひとつの事故もなく無事終了しました。来年もまた、皆さんのたくさんのご参加をお待ちしています。

コート	種目	優勝	準優勝	第3位
Aコート	男女混合	ときわ松	すばる & MIC	上中 IC
Bコート	女子	ひまわり	レッドロケット	大宮前インディアカ A
Cコート	女子	ハウンド・ドッグ	カサブランカ	レインボークラブ A
Dコート	わきあいあい	ペタンコ	レインボークラブ B	大宮前インディアカ B



平成25年度事業計画

1. インディアカの普及、啓発に関する事業

- (1) 全国スポーツ・レクリエーション祭参加チームの選定及び派遣事業
- (2) 区市町村インディアカ協会・連盟の育成及びインディアカクラブの育成指導・相談
- (3) インディアカに関する調査・研究

2. インディアカ競技に関する事業

(1) 自主事業

- ・第19回東京都インディアカ大会 4月27日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

(2) 主管事業

- ・第25回都民スポレクふれあい大会 8月11日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
主催：社団法人東京都レクリエーション協会、東京都
- ・スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会東京大会)のデモンストレーションとしての
スポーツ行事「インディアカ大会」 9月1日(日) 八王子市民体育館
主催：公益財団法人日本体育協会・文部科学省・東京都
- ・グランドシニア大会(シニアスポーツ振興事業) 10月19日(日) 荻窪体育館
主催：社団法人東京都レクリエーション協会、東京都
(主管：東京都インディアカ協会・杉並区インディアカ協会)
- ・関東甲信越ブロック大会 11月17日(日) 埼玉県所沢市民体育館
主催：社団法人日本インディアカ協会 主管：関東甲信越ブロック都県インディアカ協会

(3) 協力事業

- ・全日本インディアカトーナメント 6月22日(土) 東京体育館メインアリーナ
主催：社団法人日本インディアカ協会
- ・フレンドシップインディアカリーグマッチ 6月23日(日) 東京体育館メインアリーナ
主催：社団法人日本インディアカ協会

3 インディアカに関する指導者を養成する事業

(1) 自主事業

- 審判講習会 未定

(2) 主管事業

- ・平成25年度東京みんなのスポーツ塾 11月16日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
主催：社団法人東京都レクリエーション協会、東京都

4. その他 会議等

- (1) 理事会 必要に応じて、年3～4回開催予定。

- (2) その他の会議

- ① 専門委員会 必要に応じて開催(各委員会2～4回開催)
- ② 上部団体会議 社団法人日本インディアカ協会 平成25年5月開催
社団法人東京都レクリエーション協会 年2回(3月、5月)開催予定。
- ③ 関東甲信越ブロック会議 4月29日(祝) 東京体育館会議室

- (3) 会報「SHAKE HANDS」の編集

- (4) インターネット(ホームページ)の運営

平成 24 年度報告

1. インディアカの普及、啓発に関する事業

- (1) インディアカクラブの育成支援・相談
- (2) 区市町村インディアカ協会・連盟等の組織育成。

2. インディアカ競技に関する事業

(1) 自主事業

- ・第 18 回東京都インディアカ大会 4 月 28 日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

(2) 主管事業

- ・第 24 回都民スポレクふれあい大会 10 月 7 日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
主催：社団法人東京都レクリエーション協会、東京都
- ・関東甲信越ブロック大会 11 月 4 日(日) 神奈川県小田原アリーナ
主催：社団法人日本インディアカ協会 主管：関東甲信越ブロック都県インディアカ協会

(3) 協力事業

- ・全日本トーナメント 6 月 23 日(土) 東京体育館メインアリーナ
主催：社団法人日本インディアカ協会
- ・フレンドシップインディアカリーグマッチ 6 月 24 日(日) 東京体育館メインアリーナ
主催：社団法人日本インディアカ協会

3. インディアカに関する指導者を養成する事業

(1) 自主事業

- 審判研修会 6 月 2 日(土) 杉並区荻窪体育館

(2) 主管事業

- 平成 24 年度東京みんなのスポーツ塾 1 月 19 日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
主催：社団法人東京都レクリエーション協会、東京都

4. 会議等

(1) 会議(理事会) 4 回開催

- 1 平成 24 年 5 月 25 日(金) 荻窪体育館会議室 (事業、決算、予算、委員会)
2. 平成 24 年 8 月 6 日(月) 荻窪体育館会議室 (都民スポレクふれあい大会、東京みんなのスポーツ塾、国体デモ大会、プレ大会)
3. 平成 24 年 12 月 6 日(木) 荻窪体育館会議室 (都民スポレクふれあい大会、東京みんなのスポーツ塾、八王子交流大会、公式記録用紙の使用)
4. 平成 25 年 3 月 7 日(木) 荻窪体育館会議室 (東京みんなのスポーツ塾、八王子交流大会、25 年度都民スポレクふれあい大会、国体デモ大会、都大会)

(2) その他会議等(専門委員会、上部団体会議等)

① 役員会(会長、副会長、各専門委員会委員長、理事長、事務局長)

- 平成 24 年 9 月 8 日(土) 荻窪駅前喫茶室
- 平成 25 年 4 月 3 日(水) 聖蹟桜ヶ丘関戸公民館

② 東京みんなのスポーツ塾委員会

- 平成 24 年 10 月 16 日(火) 都レク会議室(駒沢)
- 平成 25 年 3 月 19 日(火) 都レク会議室(駒沢)

③ 各専門委員会

- 組織委員会、総務委員会、指導委員会、競技委員会、それぞれ必要に応じ 1～4 回開催。

④ 上部団体の会議

- 社団法人日本インディアカ協会総会 平成 24 年 5 月 29 日(日) 水道橋西口会館 309 会議室
- 社団法人東京都レクリエーション協会総会 平成 25 年 3 月 29 日(金) 東京都レクリエーション協会会議室(駒沢)

⑤ 関東甲信越ブロック会議 平成 24 年 4 月 29 日(祝) 東京体育館会議室 (ブロック大会、他)

第 18 回 東京都インディアカ大会

平成 24 年 4 月 28 日 (土) 駒沢オリンピック記念公園総合運動場体育館で開催された第 18 回東京都インディアカ大会に参加され、見事優勝に輝いた 2 つのチームからコメントをいただきました。だいぶ時間が経過してしまいましたが、ここに紹介させていただきます。

東京都大会、関東大会出場決定戦を終えて シニア女子の部優勝 メランジュ (青梅市)

2 年前の感動が再び湧き上がって来た。関東大会出場は、全国大会に繋がる大事な大会だ。2 年前その好機を手にし、関東 6 県の代表達との対戦で、プレー等レベルの高度さを経験する事が出来た。そんな中、大健闘の我がチームは 3 位入賞し、念願の全国大会出場を果たした。

日本全国の先週が集結した東京体育館で東京都代表としてプレーする喜び、あの時心奮えた感動を『再び勝ち取るう！』私達の目指すものとなった。昨年は大震災があり、練習不足で迎えた都大会で負けた。皆同じ条件のはず、『悔しさ』が『活力』となり、近隣県の大会に数多く参加し、実践練習を重ねて来た。また勝敗に拘わらず帰路の車中で反省会をし、次に繋がるよう話し合った。

今大会で得た関東大会ではベストを尽くし全国を目指します。『つなげる』『心ひとつに！』我がチームの合言葉とともに。



都大会優勝の喜び

男女混合の部優勝 片倉レインボー (八王子市) 小田島亮

都大会に優勝することができ、とても嬉しく思っています。今大会の優勝は、今年で 6 回目となり、メンバーは毎年同メンバーで参加し、チーム一丸となり、優勝を目標にして頑張っておりました。

今回の優勝は、特に女性の頑張りや優勝に繋がったと思っています。「サーブレシーブ」「トス」「アタックレシーブ」「ブロックカバー」がしっかりしており、非の打ち所が無い素晴らしいプレーをして頂きました。

優勝するにあたって、これまでチームの為に応援して下さいましたチームメンバー、近郊チーム、家族、役員の方々に感謝し、次の目標に向かって頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



コメントはありませんが、下の写真は上記 2 チーム以外の優勝チームです。

女子の部優勝 merry' (葛飾区)



シニア女子の部優勝 ウィング (大田区)



シニア混合の部 ガイア (練馬)



シニア男女混合の部優勝 六郷すばる (大田区)



男子の部優勝 ファミコンクラブ (調布市)



新しい競技規則と公式記録の研修会

平成 24 年 6 月 2 日 (土) 荻窪体育館

平成 24 年 4 月 1 日付けで競技規則が一部改訂されたのを受けて、平成 24 年 6 月 2 日 (土) 荻窪体育館で研修会が行われました。特に記録用紙については、それまで東京都独自の記録用紙を使っていましたが、普段から少しでも公式記録用紙に慣れるようにと、公式記録用紙を使用することになりました。公式記録用紙を使いますが、当面はその中の一部分を使います。記入する部分を太枠で囲っていますので、あまり戸惑うことなく記入できるようになっています。なお、日本インディアカ協会の公式記録用紙及びオーダー票は日本インディアカ協会のホームページに掲載されています。

我らインディアカ仲間

各種大会には、老舗のチームから、最近結成したチーム、地域の仲間同士はもちろんのこと、学校が一緒、職場が一緒など、いろいろな、そしてユニークなチームが参加されています。ここに少しだけ、ご紹介します。(大会等でお話をおうかがいし、だいぶ時間が経ってしまったチームもあります。申し訳ありません。この場をお借りしてお詫び申し上げます。)

絆 Japan

(第18回東京都インディアカ大会平成24年4月28日)に出場

町田市から参加のチーム。学生時代、アルバイトで子どもにいろいろなスポーツを教えていたときの仲間だそうで、大学も違えば住んでいるところも違う28歳の5人組。「スポーツを通じて日本を笑顔にしたい!」と今でもいろいろなスポーツを自ら体験し、楽しんでいます。」

インディアカはネットで調べたそうで、公園などで練習をし、ボールは触っているが、ゲームは今回が初めて。しかも、体育館でのインディアカは初めて、という面々。

「試合などやったこともないのに参加し、怒られると思ったが、相手チームもきちんと試合をしてくれた。こんなにミンナで声を出せるスポーツは初めて。ポイントをしたときに嬉しい」と感想を聞かせてくれました。

自分達がスポーツの楽しさを伝えることによって、みんなにスポーツの楽しさを広めたい。そして笑顔を広めたい。そして、幸せになってほしい。というとても爽やかな5人組でした。ちなみに5人とも「募集中」とのこと。



目白大学 インディーズ

(第24回都民スポレクふれあい大会(平成24年10月7日)に出場)

目白大学でインディアカの活動をしているインディーズです。現在、部員数は1~4年生合計で53名、毎週金曜日に3時間程度の練習をしています。部員のほとんどが大学からインディアカを始めた初心者です。毎回の練習、賑やかに楽しみながらも技術向上の為、真剣に取り組んでいます。毎年9月には2泊3日の夏合宿を行い、練習だけではなく、チーム内の輪を深めるような活動も積極的に行っています。(部長 裏谷一貴)

今年は例年以上に多くの大会に参加させていただいており、そこでたくさんの人との交流を深められ、とても充実した活動となっています。特に今年は、さいたま市、三郷市の大会で、また都内では練馬区の大会に出場してきました。まだなかなか勝つことは難しいですが、そこでたくさんの人と交流することができ、また新たな活動の幅を広げることができてとても楽しいです。今後は都内での大会が増えれば良いなと思っていますので、どうかよろしくお願いします。(副部长 梅澤裕次)



スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会東京大会)のデモンストレーションとしてのスポーツ行事「インディアカ大会」(平成25年9月1日(日)八王子市民体育館)は、その参加資格が「東京都に在住、在勤または在学している者」ということで、大会出場が初めて、というチームもいらっしゃいました。その3つのチームが「Bunkyo45」と「サンシャイン」そして「ルナ」。

「Bunkyo45」と「サンシャイン」は元は同じのチームだそうで、文京区にお住まいの方中心のチームで、「ママ友」から始まったチームだそうです。それぞれお揃いのユニフォームでの参加です。そして、お子さんの応援がひととき会場を和やかに、そして元気にしてくれました。

「ルナ」チームは、住まいは神奈川県や埼玉県で、在勤の仲間から、友達の友達と広がって、今回の出場となりました。

地域で、そして職場でこれからもインディアカを楽しんでいただき、一日も早く東京都インディアカ協会へ加盟をしていただき、来年の東京都インディアカ大会のデビューをお待ちしたいと思います。



Bunkyo45



サンシャイン



ルナ

東京みんなのスポーツ塾

平成 25 年 1 月 19 日（土） 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて、東京みんなのスポーツ塾が行われました。当日はスポーツ祭東京 2013 のマスコット「ゆりーと」も応援にかけつけ、一緒にインディアカを体験しました。

当日のスポーツ塾のテーマは、「記録用紙」。日本インディアカ協会の正式な記録用紙を使って、東京都インディアカ協会はその中の一部を使うことで、説明、解説と、実際に記録する「実習」が行われました。今年も「東京みんなのスポーツ塾」11 月 16 日（土）に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。



スポーツ祭東京 2013（第 68 回国民体育大会東京大会）

デモンストレーション種目インディアカ普及啓発大会 第 11 回 八王子インディアカ交流会

9 月 1 日（日）に行われたスポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会 デモンストレーションとしてのスポーツ行事「インディアカ」のためのプレ大会を平成 25 年 1 月 27 日（日）八王子市民体育館にて、開催しました。ゆりーとも参加して、本番と同じ方法、手順で行われ、気候こそ違いましたが、良い準備の大会となりました。



訃報

東京都インディアカ協会事務局長 中村陽子さん

東京都インディアカ協会設立時から事務局長を勤めご尽力いただいております中村陽子さんにおかれましては、7 月 19 日、急逝されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



理事長をお引き受けして

理事長 永尾 治子

長年都協会の副会長と理事長を兼務されておりました武石さんが健康上の理由で兼務困難な為、理事長をお辞めになると宣告され、後任として推薦を受け心の準備もなく理事長を引き受けてしまいました。練馬区からの都理事として 12 年間、都協会と区協会のパイプ役を頑張ってはきましたが、まだまだ微力で、都協会の運営に関われる実力や経験の不足を、武石副会長、中村事務局長、山崎指導委員長、大塔競技委員長に四人の方々を支えられ引っ張られ 10 ヶ月を過ごしてきました。

昨年 3 月には理事会も 2 年任期の途中でしたが、理事会の運営が人数不足の為難しいことから、各所属団体から理事の増員お願することになり、10 名から 15 名に理事が増えました。

理事長は新米、新理事も任期残り 1 年という中途半端な状態で、活躍しようにもどう動いてよいやら？ 協会主催・主管の大会の準備に振り回されて、都協会と各所属協会・連盟・クラブの連携のあり方や、インディアカの普及振興という都協会の目的を遂行するには、今後どのように理事会が活動していけば良いのかを考える余裕がありませんでした。唯々反省するばかりです。

今後は、会員の皆様のご意見を、各所属団体選出の理事さんから集めさせていただく機会を多くつくり、会員皆様の意見が反映される事業展開が出来ることを願っています。

どうぞよろしくお願いたします。